

科目ナンバリング											
授業科目名 <英訳>	博物館展示論 Museum Exhibition: Design and Communication					担当者所属 職名・氏名	総合博物館 准教授 塩瀬 隆之 情報環境機構 助教 元木 環				
群	キャリア形成科目群			分野(分類)	学芸員課程			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	水3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向		
【授業の概要・目的】											
博物館における展示機能について，具体的な展示手法の習得を通じて，その意義と使命の理解を目指す．とくに展示デザインだけでなく，展示評価についても体系的に紹介することにより，生涯学習拠点の一つとして期待される博物館のコミュニケーション機能をより効果的に実現するスキルの習得を目指す．さらに学術標本資料を収集，保存，展示する大学博物館固有の存在意義を理解することにより，博物館の多様な社会的意義についての理解を深める．											
【到達目標】											
博物館における展示機能について，その意義と使命を理解する． さらに展示デザイン，展示評価についても理解することで，博物館のコミュニケーション機能をより効果的に実現するスキルを習得する．											
【授業計画と内容】											
<p>以下のような課題について，1課題あたり1～2週の授業をする予定である．</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．博物館展示とは</li> <li>2．展示計画</li> <li>3．展示の意味</li> <li>4．展示のデザイン</li> <li>5．展示環境の管理</li> <li>6．展示の管理</li> <li>7．展示の評価</li> <li>8．企画から展示まで</li> </ol> <p>（うち2回、元木先生ご担当予定）</p> <p>博物館における具体的な展示計画の事例を挙げ，展示の意味や管理，評価まで展示に必要な一連の流れを理解することを目的とする．さらに博物館のコミュニケーション機能をより効果的に実現するスキルとして，動画像をもちいた映像展示や機構模型のように手に触れて理解を助けるハンズオン展示など、多様な媒体を駆使した最新の展示技法についても概観する．</p>											
【履修要件】											
学芸員資格の取得を目的とする学生，ならびに博物館に興味関心を持つ学生を対象とする．											
【成績評価の方法・観点】											
平常点（40％），小レポート（20％）ならびに筆記試験（40％）により評価する．											
-----博物館展示論(2)へ続く-----											

## 博物館展示論(2)

### 【教科書】

未定

### 【参考書等】

（参考書）  
デビット・ディーン 『美術館・博物館の展示 理論から実践まで』（丸善出版）ISBN:978-4-621-07362-9

### 【授業外学修（予習・復習）等】

学芸員資格の取得を目的とする学生，ならびに博物館に興味関心を持つ学生の場合，日頃より，積極的に博物館・美術館・水族館・植物園・動物園など相当施設に足を運び，展示手法などの調査・見学を自主的行うことが望ましい．

### 【その他（オフィスアワー等）】